

# 発達心理学の 新しいパラダイム

ヴァスデヴィ・レディ

松沢哲郎

下條信輔

佐伯 胖

當眞千賀子

人間科学の  
「二人称的アプローチ」



発行 中山人間科学振興財団／発売 中山書店

# 発達心理学の 新しいパラダイム

ヴァスデヴィ・レディ

松沢哲郎

下條信輔

佐伯 胖

當眞千賀子

人間科学の  
「二人称的アプローチ」



## はしがき——開会のことばより

皆さま、こんにちは。深まる秋、行楽の秋ですが、しかも週末の土曜日に、私ども中山人間科学振興財団のシンポジウムにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

私どもの財団は創立 25 周年でございまして、まだ財団としては青年期に差し掛かったところと申し上げてよいと思います。

ただ、本財団の設立者である中山三郎平氏が、本当にまだ日本が荒廃の最中にある戦後間もなく、岩波書店から独立されて中山書店を創設されたときには、その理念はまさしく「人間の科学」であったと伺っております。

もっとも、戦後「人文科学、社会科学、自然科学」という三区分は、大学カリキュラムの整理などに使われて、一般に親しいものになりましたが、そのなかの「人文科学」は「人間の科学」ではないのか、という疑問もあり得ましょう。ただし、こうした三区分の際の「人間科学」は、例えば英語に直したときには、決して「科学」に相当する“science”は登場しません。“humanities”というに止まることは、ご承知の通りです。反対に、英語で“human sciences”というとき、自然人類学などのように、ヒトという生き物を科学的に探求する学問領域を指すのが普通です。私どもの財団の名称の英語表現には“human science”を使っておりますが、中山三郎平氏が提唱された「人間の科学」は「人文科学」とも、また英語本来の“human science”とも、さらには“humanities”とも完全に同じではない斬新な提案であり、その理念を受け継ぐべきであると私どもも理解しております。

きょうのシンポジウムのタイトル、「人間科学における『二人称的アプローチ』」というのは、誠にその創設者の理念にもふさわし

いタイトルとして私どもは大変喜んでおります。

わざわざ遠方から駆けつけてくださったパネリストの方々，詳しいご紹介は司会の佐伯先生からしていただけたと思いますが，基調講演をしてくださるレディ先生はイギリスから，それから，私どもに日本語の橋渡しをしてくださる當眞先生は九州から，ミニ・レクチャーの松沢先生は京都から，そして，下條先生はアメリカからというわけで，佐伯先生だけが首都圏ご在住ですが，文字通り世界の隅々からお集り下さいました。内容も素晴らしいものとなるに違いありません。大変期待でわくわくしております。

皆さま方も，ぜひ楽しみながら，インフォーマティブで，しかも刺激的である，これからのしばらくの時間をお楽しみいただければと思います。

ご挨拶に代えて一言申し上げました。ありがとうございます。

2016年10月29日

中山人間科学振興財団  
代表理事 村上陽一郎

# 目次

|                     |       |     |
|---------------------|-------|-----|
| はしがき—開会のことばより ..... | 村上陽一郎 | iii |
|---------------------|-------|-----|

## ●基調講演

### 乳児期におけるかかわることと心への気づき

|       |               |   |
|-------|---------------|---|
| ..... | ヴァスデヴィ・レディ    | 1 |
|       | (要約・解説) 當眞千賀子 |   |

## ●ミニ・レクチャー1

### 想像するちから

|                         |      |    |
|-------------------------|------|----|
| チンパンジーが教えてくれた人間の心 ..... | 松沢哲郎 | 45 |
|-------------------------|------|----|

## ●ミニ・レクチャー2

### こころは孤立しているか？

|                       |      |    |
|-----------------------|------|----|
| 実験的発達心理学の可能性と限界 ..... | 下條信輔 | 79 |
|-----------------------|------|----|

## ディスカッション

|       |                         |     |
|-------|-------------------------|-----|
| ..... | ヴァスデヴィ・レディ／松沢哲郎／下條信輔    | 115 |
|       | (司会) 佐伯 胖／(要約・解説) 當眞千賀子 |     |

|            |  |     |
|------------|--|-----|
| あとがき ..... |  | 147 |
|------------|--|-----|

|          |  |     |
|----------|--|-----|
| 索引 ..... |  | 149 |
|----------|--|-----|

|                    |  |     |
|--------------------|--|-----|
| プロフィール&講演ビデオ ..... |  | 152 |
|--------------------|--|-----|

# 索引

## 【あ行】

アイ・プロジェクト 55  
仰向け姿勢 59  
赤ちゃんの自発的微笑 127  
アザラシ狩り 123  
アルファ波 132  
アルマン、ジョアン 86  
位相同同期度 108  
意図的行為 24  
意図の埋め込み 31  
イヌイット 122  
インターパーソナル EEG  
107  
エフェ・ピグミー 53  
エントレインメント 119,  
124  
応答 8  
教えない教育・見習う学習  
70  
教える 71  
恐れ表情 131  
おどけ 18  
驚き 37  
オランウータン 52  
オランウータンの赤ちゃん  
65  
音楽 118  
音楽の人類学的研究 131  
温泉につかるサル 48

## 【か行】

外因的微笑 128  
快感の表出 127  
カエルの鳴き声 101  
科学者と世界の関係 145  
かかわり 4  
語りの謙虚さ 141  
カナー 24  
からかい 35, 124  
からかいの広まり 38  
観察者 23  
漢字の記憶 76  
基底的な様相 72  
きずな 59

気づきの抽出 31  
客観性 40, 42  
共感覚 134  
協調訓練による身体・脳の  
同期実験 105  
共同注視 9, 13, 20  
京都大学霊長類研究所 56  
クジラ捕り 123  
グリメイス 130  
クリューバー・ビューシー症  
候群 86  
謙虚さ 141  
言語 68, 73, 84, 101, 111,  
118, 131, 133, 136  
言語発達 136  
現象 7  
小泉文夫 122  
行為 4  
行為と協調への引き込まれ  
31  
高機能自閉症 93, 109  
心の独立性 91  
心の理論 7, 40, 89, 107,  
126  
「こっくりさん」実験 101  
ことば 71  
言葉の共有化 133  
コミュニケーション機能  
31  
固有な文化的伝統 70  
ゴリラ 52

## 【さ行】

サル団子 48  
サルのイモ洗い 48  
サルの扁桃核切除 86  
参与観察 40, 61, 144  
参与的方法 40  
「死」 140  
シータ波 106  
地謡 132  
シカに乗る屋久島のニホンザ  
ル 49  
時間軸上の事物 22

指示的意図の理解 31  
視線追従 9  
実験心理学 85, 93  
死にゆくこと 141  
シネステージア 134  
自発的微笑 66, 127  
自閉症 22, 25, 38, 109  
自閉症スペクトラム指数  
95  
自閉症スペクトラム障害  
93  
社会性 84  
社会的コミュニケーション  
100  
社会的相互作用訓練 103  
社会的な行動様式 123  
社会的なジェスチャー 20  
社会的な微笑 67  
社会的認識 36  
ジャンケレヴィッチ、ウラジ  
ミール 140  
樹上性 65  
狩猟採集民 53  
瞬間記憶 76  
情感的結合の瞬間 39  
情感的リズムのかかわり  
39  
状態遷移(確率)に基づくモ  
デル 91  
衝動 8  
情動 4, 118  
情動性 4, 118  
情動的応答 11  
情動的反応 15  
情動脳 87  
情動を伴ったかかわり 5  
序数的な様相 72  
神経科学 85, 93, 111  
神経ディレイ 124  
新生児微笑の進化的起源  
130  
身体運動の「潜在的な」同期  
107  
身体性 84

心理現象 7  
人類学 40, 42  
数字を用いたチンパンジーの  
記憶テスト 74  
スモールワールド・ネット  
ワーク 121  
生气情動 4  
生气輪郭 4  
石器使用学習 68  
潜在認知 85  
潜在（認知）過程の特徴  
111  
相互依存性 91  
相互信頼関係 63  
相互的関与 36  
想像するちから 76  
創発 91  
ソシユール 134

## 【た行】

第一種過誤 126  
対人同期性 39  
ダイナミック・カップリング  
91  
タイプ1エラー 126  
ダウン症児 22, 38  
多感覚転移 98  
抱き上げに対する予期的調整  
24  
他者 5  
——の意図とのかかわり  
9  
——の行為の邪魔 38  
——の注目とのかかわり  
9  
ダライ・ラマ 14 世 112  
ダンス 131  
知覚 11  
知覚的順応 99  
地上性 65  
注目 9, 13  
注目行動 10  
注目性 10  
注目的かかわり 15  
注目への気づき 10  
チョウの同調 123  
直接的なかかわり 7  
直立二足歩行 59

チンパンジー 52  
——にみられる同調の選択  
性 120  
——の赤ちゃん 65  
——の記憶テスト 72  
——の自発的微笑 129  
——の認知科学実験 56  
——の野外研究 58  
——母子の参与観察 61  
定型発達児の予期的調整  
26  
デカルト 10, 13  
手の観察行動 29  
照れ微笑 16  
てんかん発作 122  
動機 8  
道具 68  
同調することの進化的意義  
119  
トウモロコシの研究 145  
当惑 16  
鳥の群れ 122

## 【な行】

喃語 91  
日常的現象 7  
「2.5人称」のアプローチ  
142  
二人称性と三人称性の行き来  
142  
二人称的アイディア 110  
二人称的アプローチ 81,  
84, 144  
二人称のかかわり 6, 36  
二人称的な「死」、三人称的  
な「死」 140  
ニホンザル 47  
——の新生児微笑 130  
乳児 3, 23, 143  
——にとっての他者 5  
——のからかい 35, 124  
——の社会的認識 40  
乳児期初期における2つの  
「かかわり」 8  
乳児期の日常的現象 7  
ニューロティピカル 93  
人間科学 145  
人間の教育 71

認知症 86, 138  
脳間の結合 108  
脳波 102, 127

## 【は行】

蓮 112  
発達心理学 42, 79, 111,  
139  
発達プロセス 23  
パントグラント 72  
パントフット 72  
非定形発達の重要な指標 25  
ヒト科 51  
——の分岐と推定年代  
53  
ヒトの歩行 102  
表情 95, 130  
ファン・ホーフ, ヤン 131  
ブーバー, マルティン 37,  
140  
不在/非注目 16  
不服従の誘い込み 38  
文化 31, 49, 68, 70, 74,  
131  
文脈依存性 91  
ベータ波 107  
扁桃核 86  
傍観的状况 23  
報酬価 121  
報酬系 132  
母国語 91, 122, 137  
——の学習 91  
——の修得 122  
母子間のエンタテインメント  
91  
ホテルの点滅 101  
ボノボ 52

## 【ま行】

マクリントック, バーバラ  
145  
まなぶ 68  
まねる 68  
ミラー順応 98  
ミラーニューロン 99  
未来における注目 23  
魅力 8  
無意識的な身体と同調 100

無自覚的な同期 102  
結びつき 36  
メルロ＝ポンティ 11, 13  
モノの提供 - 引っ込め 38

### 【や行】

野生チンパンジー 55, 58,  
68, 71, 129  
——の「ことば」 71  
——の石器使用学習 68  
——の道具使用 120  
指さし 9  
指 (非) 追従課題 102  
予期的調整の月齢による違い  
27  
予想できない結果 36  
呼び寄せ 16

### 【ら行・わ行】

リズム 131  
霊長類学 49, 51, 68  
劣位の表情 131  
「我と汝」(的な)関係 37,  
140

### 【欧文】

action 4  
Allman, John M. 86  
amygdala 86  
AQ (autism-spectrum  
quotient) 95  
ASD (autism spectrum  
disorder) 93  
attention 9, 13  
attentional behavior 10  
attentional engagements

15  
attentionality 10  
attraction 8  
auto correlation 105  
awareness of attention 10  
awareness of mind 3  
Buber, Martin 37  
cross correlation 105  
clowning 19  
connection 36  
coy smile 16  
cross fostering 60  
Descartes, René 10  
"Don't Look" Paradigm 93  
"Don't Look the Mouth" テス  
ト 95  
education by master-  
apprenticeship 70  
EEG 102, 127  
embarrassment 16  
emotion 118  
emotional involvement 5  
emotional response 15  
emotionality 117  
endogenous smile 128  
engagement 3  
exogenous smile 128  
expanding process 23  
finger position monitoring  
104  
fMRI による神経科学 126  
grimace 130  
hand watching behavior 29  
humility 141  
impulse 8  
Jankélévitch, Vladimir 140  
joint attention 9

Kanner, Leo 24  
"La Mort" 140  
laughter 131  
Merleau-Ponty, Maurice 11  
motivation 8  
mutual trust 63  
narrative humility 141  
neurotypical (NT) 93  
participant observation 40,  
61  
participatory method 40  
phenomena 7  
PLV (phase locking value)  
108  
positive reinforcement  
training 64  
psychological phenomena  
7  
reasonable behaviour 138  
respond 8  
rewarding 132  
risking participatory method  
42  
Saussure, Ferdinand de  
134  
second personal engagement  
139  
2nd-person approach 81  
smile 131  
social cognition 3  
social understanding 3  
spectatorial situation 23  
synesthesia 134  
teasing 35  
van Hooff, Jan 131  
vitality affect 4  
vitality contour 5

## 【プロフィール & 講演ビデオ】

### ヴァスデヴィ・レディ (Vasudevi Reddy)

英国ポーツマス大学発達文化心理学教授，同大学状況の行為とコミュニケーションセンター (Centre for Situated Action and Communication) 所長。

●インドで大学院修士課程を修了後，英国エディンバラ大学にて博士号（心理学）を取得。インドに戻り母校オスマニア大学で2年間教鞭をとる。1986年より現職。

●著書に『驚くべき乳幼児の心の世界—「二人称的アプローチ」から見えてくること—』（佐伯 胖訳，ミネルヴァ書房，2015年）がある。2006年には北海道医療大学で中野茂教授の招聘で2週間の特別講義をしており，同年京都で開催された国際乳幼児学会 (ICIS) 会議にも参加。2016年には北海道で開催された日本発達心理学会第27回大会で招待講演を行っている。



講演の動画はQRコードよりご覧になれます。

### 松沢哲郎 (まつざわ・てつろう)

京都大学高等研究院特別教授。

●1950年，愛媛県松山市生まれ。1974年，京都大学文学部哲学科卒業，理学博士。1978年から「アイ・プロジェクト」とよばれるチンパンジーの心の研究を始め，野生チンパンジーの生態調査も行う。チンパンジーの研究を通じて人間の心や行動の進化的起源を探り，「比較認知科学」とよばれる新しい研究領域を開拓した。2016年3月に京都大学霊長類研究所を退職，同年4月より現職。公益財団法人日本モンキーセンター所長，国際霊長類学会会長。

●著書に『想像するちから—チンパンジーが教えてくれた人間の心』（岩波書店，2011年。第65回毎日出版文化賞受賞，科学ジャーナリスト賞2011受賞）など多数。1996年中山賞特別賞，2004年紫綬褒章受章，2013年に文化功労者選出。



講演の動画はQRコードよりご覧になれます。

## 下條信輔 (しもじょう・しんすけ)

カリフォルニア工科大学生物・生物工学学部ボルティモア冠教授。

◎1955年、東京生まれ。マサチューセッツ工科大学大学院修了、Ph.D取得。東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了。2012年4月より京都大学こころの未来研究センター特任教授。専門は知覚心理学、視覚科学、認知神経科学。

◎『まなごしの誕生—赤ちゃん学革命』(新曜社), 『サブリミナル・マインド—潜在的人間観のゆくえ』(中公新書), 『サブリミナル・インパクト—情動と潜在認知の現代』(ちくま新書)など著書多数。これらの著作によりサントリー学芸賞受賞。日本神経科学会より時実利彦記念賞, 日本認知科学会より独創賞, 中山賞大賞受賞(2008年)。



講演の動画はQRコードよりご覧になれます。

## 佐伯 胖 (さえき・ゆたか)

田園調布学園大学大学院人間学研究科教授, 公益社団法人信濃教育会教育研究所所長, 東京大学名誉教授, 青山学院大学名誉教授。

◎1939年、岐阜県生まれ。慶應義塾大学工学部卒業後、米国ワシントン大学大学院修了、Ph. D。専門は認知科学、保育学。青山学院大学ヒューマン・イノベーション研究センター元所長。

◎『幼児教育へのいざない』(東京大学出版会), 『イメージ化による知識と学習』(東洋館出版社)など著書多数。訳書: V. レディ著『驚くべき乳幼児の心の世界—「二人称的アプローチ」から見えてくること—』(ミネルヴァ書房, 2015年)。



## 當眞千賀子 (とうま・ちかこ)

九州大学大学院人間環境学研究院教授。専門は発達心理学。



### ■ディスカッションの記録動画

ディスカッションの模様は右のQRコードより動画でご覧になれます。QRコード①は平面映像, QRコード②はパネリストとフロアとの双方の様子が閲覧できる全天周映像\* (一部) です。



①平面映像



②全天周映像

\* 全天周映像をご観いただく際には、端末のYoutube専用アプリで再生してください(ブラウザからの再生では360°再生はできません)。



<http://nakayamashoten.jp/wordpress/zaidan/>

はったつしんり がく あたら  
**発達心理学の新しいパラダイム**  
にんげん がく に じんしょうてき  
一人間科学の「二人称的アプローチ」

2017年10月20日 初版第1刷発行 © [検印省略]

編集 中山人間科学振興財団 25周年記念事業特別委員会

発行者 村上陽一郎

発行所 公益財団法人 中山人間科学振興財団  
〒112-0006 東京都文京区小日向 4-2-6 TS93 ビル 10F  
TEL03-5804-2911 FAX03-5804-2912

発売 株式会社中山書店  
〒112-0006 東京都文京区小日向 4-2-6  
TEL03-3813-1100 (代表)

制作 株式会社中山書店

編集協力 有限会社学芸社  
本文デザイン

印刷・製本 図書印刷株式会社

Published by Nakayama Foundation for Human Science  
ISBN 978-4-521-74554-1

Printed in Japan

落丁・乱丁の場合はお取り替え致します。

・本書の複製権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は公益財団法人 中山人間科学振興財団が保有します。

・**JCOPY** (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mailinfo@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

本書をスキャン・デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（「私的使用のための複製」など）を除き著作権法違反となります。なお、大学・病院・企業などにおいて、内部的に業務上使用する目的で上記の行為を行うことは、私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して使用する本人以外の者が上記の行為を行うことは違法です。